

秩父三大神社 三峯神社奥宮の妙法ヶ岳に行ってみよう

妙法ヶ岳

実施日 2018年4月22日(日)
 天候 快晴
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、白石恵美子、小村井好枝、石附智江、白石佐恵、宮崎敏男、阿部一郎、阿部みゆき 計8名
 費用 西武線1,544円(池袋起算)
 1860円 計6,404円
 タイム 西武秩父(8:47~9:10)三峯神社BS(10:25~35)妙法ヶ岳分岐(11:40)奥宮(12:02~12:45)妙法ヶ岳分岐(13:05)霧藻ヶ峰縦走路(13:26)三峯神社(14:25~14:35)三峯神社BS(14:45~15:50)西武秩父駅(17:15~34分)

秩父の最高気温は31度予想、春を飛び越して真夏の一日になったこの日、秩父三大神社の三峯神社奥宮が鎮座する妙法ヶ岳の周回歩きを楽しんだ。

最近のパワースポットブーム?もあり毎月一日の白い気守りの頒布が大人気、徹夜で向かう車の列に毎日の交通情報でも渋滞を告げる情報も聞かれます。当日は路線バスも1時間程のところは4時間以上かかることもある様です。

そんな人気の所でもGW前で1日でもないので行って見たのですが、甘かったかもの感じはあったが、快晴の夏日、神の山を感じさせる静かな山と思わぬ花見もできてまあヨカッタかなあ!?

でも、家から歩き出すまで4時間はやっぱりアプローチがナガ〜イ! 車なら広島まで行けちゃう時間なのだ!

しかも帰りもまた... オシマイまで読んでね(^^;)

カンカン照りの広ーい三峯神社駐車場(既に駐車待ちで列をなしている)の奥の階段が妙法ヶ岳、雲取山への入口である。すぐに見事に咲き誇るシャクナ



ゲの群落が迎えてくれた。

神社からの道と合わせ杉の森を登って、鳥居のある妙法ヶ岳登山口から奥宮への道を登る。

要所の導標はしっかりと地図なしでもOKみたい...でも地図はしっかりと準備

しましょう。

適度に配されているベンチで休憩も入れ、東屋のある奥宮入口で左へ、朽ちかけた階段、栈道を行くが近々改修工事で行き止まりになるので、今日でヨカッタ!



(そう言えば1日の白い気守りも混雑考慮で5/11とのこと)

最後の登りは階段のない一枚岩を鎖と手摺りで登って奥宮の鎮座するピークに到着、早速お参り。

ピタリ昼なので山頂の粗餐になった。

雲取山方面は開けて霧藻ヶ峰、で

っかく白岩山、そしてその奥に雲取山がちょこっと顔を覗かせている。

ここは1300mほどだが、天頂の陽射しが刺すように暑い、やはり今日は『ハルナノニ〜...』異常な真夏日だ!



集合写真も撮ってもらって、東屋の入口鳥居に戻り、霧藻ヶ峰方面にトラバース

気味に登って小ピークを下ると縦走路に出るが、東屋からこの先の妙法ヶ岳分岐まで2.5万地形図の登山道が違って地形図記載の道はない。

歩き易くなった道をのんびり下り、妙法ヶ岳分岐に出て周回となり、すぐに舗装路になって、三峯神社に向かう。

流石に賑やかになって立派な隨身門を抜け小ぶりだが更に豪華な立派な本殿に詣でて本日の行動予定は完了。

駐車場で待ち、西武秩父で反省会もね... しかーし! 15時半過ぎても駐車待ちの渋滞は続いて、路線車も亀の歩みか? 全然現れなー!

30分以上は遅れ、しかもラッシュ状態の車で駅に向かう(我々は読み勝ちで全員着席)、市内でノロノロもあって更に10分ほど遅れ、反省会は省略して解散、帰路についた。山は面白かったけど、やっぱり遠いねー!

参加の皆様お疲れ様。ありがとうございました。

(記&写真・涌井 良明)